

西日本豪雨復興支援 (A-STEP機能検証フェーズタイプ)

産学連携展開部 地域イノベーショングループ



科学技術振興機構

JSTのこれまでの復興支援への取組

繋がる経験と技術 東日本大震災～熊本地震～西日本豪雨災害

西日本豪雨復興支援

復興促進プログラム
(H24～27)

熊本復興支援
(H29)

募集課題

- 西日本豪雨からの**復興**に資する、または西日本豪雨を受けた今後の**防災・減災**に資する試験研究課題・調査研究課題
- 試験研究課題は、企業ニーズに基づき大学シーズを活用する課題 ⇒機能検証フェーズの一般公募と同様
- 調査研究課題は、将来的に産学連携による活用を見込む研究データ取得のための課題 ⇒具体的な企業のニーズ有無は問わない。**ニーズ元企業不在でも申請可**（橋渡し人材は必要）

※研究機関・ニーズ元企業の**所在地の地域限定はなし**

公募概要

公募タイプ	西日本豪雨復興支援	【参考・一般公募】 A-STEP 機能検証フェーズ 試験研究タイプ（第2回）
募集期間	8月9日（木）～9月11日（火）	7月11日（水）～9月11日（火）
支援対象	大学・高専・公設試等	大学・高専・公設試等
申請者	大学等の研究者	大学等の研究者
研究開発費 (JST支出総額) (間接経費含む)	100万円～300万円	～300万円（下限なし）
研究開発期間 (予定)	平成30年12月20日～平成31年12月31日の 原則1年（平成32年3月末までの延長可）	平成30年12月20日～平成31年12月31日の 原則1年（平成32年3月末までの延長可）
知的財産権 の有無	必要なし	必要なし
採択予定課題数	約20課題	約30課題

選考の観点

以下の観点に基づき総合的に実施します。

観点①目標設定の妥当性

観点②課題の独創性(新規性)および技術の優位性

観点③計画の妥当性

観点④イノベーション創出の可能性(研究成果の波及効果の可能性)



観点⑤西日本豪雨からの復興への寄与

・本研究開発または本調査研究の実施により、西日本豪雨からの復興 または 西日本豪雨を受けた今後の防災・減災に資することが期待されるか。

調査研究課題の留意点

- 研究データの将来的な産学連携での活用の見通しが必須（産学連携を旨としない基礎調査・基礎研究では×）
- 具体的な企業のニーズを必須としない分、試験研究課題よりも復興または防災・減災への寄与が期待されることが重要

一般公募との重複申請

- 同一研究代表者が、A-STEP機能検証フェーズ（試験研究タイプ第2回・実証研究タイプ）と重複して申請することはできません。

※本年度の試験研究タイプ第1回（3～5月募集。締切済）に申請して採択された研究者は申請不可。

一方、第1回に申請して不採択だった研究者が、西日本豪雨復興支援、あるいは試験研究タイプ第2回のいずれかに申請することは可。

お問い合わせ先

本事業及び申請書類の作成・提出手続き等に関する問い合わせ

担当部署	お問合せ先	URL
国立研究開発法人 科学技術振興機構 産学連携展開部 地域イノベーショングループ	Tel: 03-6272-4732 (午前10:00～午後5:00) ※月～金曜日(祝祭日を除く) e-mail: mp@jst.go.jp	http://www.jst.go.jp/mp/

府省共通研究開発管理システム(e-Rad)の操作方法に関する問い合わせ

担当部署	お問合せ先	URL
府省共通研究開発管理システム (e-Rad)ヘルプデスク	Tel:0570-066-877 (午前9:00～午後6:00) ※月～金曜日(祝祭日を除く)	https://www.e-rad.go.jp/ ※公募要領・申請書 様式のダウンロード 可能